



山梨県立わかば支援学校

令和8年度 第1回学校運営協議会 協議結果等について

日時：令和8年6月23日（火） 13：30～15：00

場所：本校 視聴覚室

次 第

- 1 開会のことば
- 2 校長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 運営等に関する要綱について
- 5 会長・副会長選出（互選）
- 6 会長あいさつ
- 7 議事＜議長：会長＞
 - （1）令和8年度教育目標・学校運営の基本方針
及び職場環境づくりマネジメントプランについて （校長）
 - （2）学校概要について （副校長・教務主任）
 - （3）令和7年度学校評価報告・令和8年度学校評価計画について（副校長・教頭）
 - （4）その他
- 8 連絡・報告
 - （1）今後の予定
第2回学校運営協議会 令和8年10月26日（月）13：30～ 分校
第3回学校運営協議会 令和9年 2月15日（月）13：30～ 本校
 - （2）その他
- 9 閉会のことば

＜学校運営協議会委員の委嘱＞

開会に際して、学校運営協議会委員の委嘱通知を配付。

＜会長・副会長選出＞

互選の結果、柳澤委員を会長、長倉委員を副会長として選出し、委員の承認を得た。

＜議事＞

- （1）令和8年度教育目標・学校基本方針及び職場環境づくりマネジメントプランについて
 - 学校より説明 ⇒ 承認
 - 質問及び意見
・特になし。
- （2）学校概要について
 - 学校よりスライドを用いて説明 ⇒ 承認
・学校概要に加えて、働き方改革の取り組みについても説明
 - 質問及び意見
・本校の教育課程について、自立活動が帯の授業として実施されているなかで、社会性への支援については、どのように伸ばしていく教育課程となっている

のか伺いたい。また、自立活動はグループ活動として実施されているのか教えてほしい。

→ 全て個別対応というのは難しいため、小グループを組んで行っている。必要に応じて個別対応も行う中で、社会性も含め一人ひとりに目標を設定して実施している。

- ・ 集団の中で育つ社会性というところが特に知的障害の特別支援学校では大切になると思うが、そういった能力が本当に伸びているかを見ていくうえで、例えば SM 社会生活能力検査を継続的に行うなどして、社会性がどう育っているのかを見ていくのが特に知的障害教育では大切だと思う。

(3) 令和 7 年度学校評価報告・令和 8 年度学校評価計画について

○ 学校より説明 → 承認

○ 質問及び意見

- ・ 本年度の重点項目が今年から本校と分校で統一されていて分かりやすい。

(4) その他（各委員より感想等）

- ・ 「学校運営に係る基本方針」は、保護者には周知されているのか。されている場合はどのような方法なのか教えてほしい。

→ 目指す学校像については、PTA 総会の折に保護者に伝えている。

- ・ 分かりやすい資料なので、このようなルールで先生方が動いていることが保護者の方にも伝わると思う。

- ・ 高等部の「家庭」の授業内容を大まかに教えていただきたい。

→ 調理や洗濯、清潔等、卒業後の生活に直結するような内容に取り組んでいる。

- ・ 山梨県農福連携推進協議会主催で、障害のある方でも参加できる料理教室を開催したところ、わかばの生徒にも来ていただいたこともあった。食に興味を持つということはすごく大事だと感じていて、また、自分は何が好きで何がやりたいかを考える上では、やはり経験しかないと思っている。料理教室を開催する中で、障害のあるお子さんの家庭は、親と子どもで班を別にするようにしている。そうすることで、障害の有無にかかわらずお互いがサポートし、支え合う姿を見ることができた。その際、多くの人とのかかわる経験はすごく大事であることと、スイーツ系の仕事をしたいという方たちが増えているという実感をもった。本協議会を通じて、栄養士の先生を交えて食に触れる授業を、枠組みがあれば家庭の授業でぜひ取り組んでいただけたらありがたい。

- ・ 大勢の職員がおり、恐らく欠員がある中で、若い期間採用の先生に対しても服務規律について理解してもらうための研修を、忙しい中でもやってほしい。校務支援システム BLEND は現在、新聞報道では義務教育校で機能が使えないなどの状況が続いているとのことであるが、県立学校はどのようなになっているのかお伺いしたい。

→ 県立学校でも様々なことがうまくいっていない状況。4 月当初は旅行申請の承認もできないという状況があった。服務規律については、全体朝礼の折に職員へ話をしている。引き続き気を付けていきたい。

- ・ 昨年度は働き方改革を校内研究のテーマとしてプロジェクトを立ち上げて、多くの先生方が努力されたと思う。ニュースでは教員としてがっかりするような報道がある中で、昨年度始めた改善策についてはぜひ続けていただき、先生

方がやりがいを感じて仕事をできる環境を今年度も作っていただきたい。

- 日本の教育において本来小・中学校に行くべき子ども達が特別支援学校に流れているという統計データが出ている。2012年にインクルーシブ教育を始めたわけだが、その後も特別支援学校の子どもは増えている。見方によっては分離教育が進んでいるという指摘を国連から受けている。このような状況の中で特別支援学校の中で教科を学べる子どもと、生活力を高めていく子どもたちで学校の中が二分している現状があると思う。学校の中で教育課程を分けて対応している学校もある。本校の教育課程で、以前は生活単元学習があったかと思うが、今回は見られなかったのも、生活力を高めていく段階の子どもたちにどのように社会性を身に付けていくのか、個別対応では集団の力を培うのが難しい面もあると思っている。子どもたちの社会性をどう高めていくのかということとはぜひ、先生方と検討を深めさせていただけたらとお願い申し上げる。
 - 毎日の通学支援で学校の外観は拝見していたが、今回活動の様子などの中身を教えていただいて、子どもたちが安心して学べる環境が整えられていることを改めて実感した。学校の様子をオープンにさせていただくことで子どもたちの生活を身近に感じることができてすごくありがたいと思う。多忙化改善に向けた取組が行われていると回答した教員が81%いることはすごいことだと思うし、先生方の良い支援に繋がると感じる。
 - 昨年度の資料がアップデートされていていいなと思う。校舎の増築に向け、現在どのような苦労があるのか教えていただきたい。
- 二つのクラスが一つの教室に入って対応していることや、情緒不安になった子どもをクールダウンさせるための部屋がない点などに苦労がある。ゆとりがないため、不測の事態への対応が課題である。特別教室も不足しているため、授業場所の確保もなかなかうまくいかない面がある。令和10年4月に共用開始に向けて県議会で審議中であり、令和9年1月頃から工事開始予定。
- 高等部に進学すると、学習的にできるお子さんも入ってくる中で、クラス編成と、授業のグループを分けて生活しているというイメージをもっている。令和7年度の学校評価において、学習が自分の生活や進路につながるという実感が薄いという記載があるが、その点についてどのような工夫をしているのかをお聞きしたい。
- 以前は実態別にコース分けをした教育課程があった。今のクラスは、色々な実態の子どもがいる等質の振り分けをし、学習グループはそれぞれの目標によって実態別に分けているのが現状である。どちらも一長一短があるため、どこに重点を置くかという話になるが、その子に合った学習のポイントはずらさないようにするという点については共通して行っている。
- 委員の皆さんのご意見を聞くこと自体が勉強となっている。校内での生活の場と学習の場を分けていただいていることで、クラスで生活する中で、友達から優しい声かけや手助けを受けている様子を授業参観で見ることができ、すごく満足している。業務改善策の中にヨガや筋トレと記載されているが、どんなことをやっているのかが気になった。
- 教員それぞれが持っているスキルなどを生かしたミニ研修会を行っている。そのような場をとおして、いつもとは違う雰囲気やコミュニケーションが生まれている。
- 自分の子どもが小学生の頃は地域行事が多く、いろいろな交流があった。情報

をいただければ、地域の方々にも声かけをして学校と交流ができればと思う。
また、先生方がリフレッシュすることは大事で、それが次のステップに繋がる
こともあるのでぜひ頑張っていたきたい。

- ・避難訓練や引き渡し訓練は年間何回くらい実施しているのか教えていただきたい。

→引き渡し訓練は年間1回、避難訓練は毎学期実施している。

学校長より

- ・今回の第1回学校運営協議会では、本校と分校の様子を聞いていただいたが、
2回目以降はグループワークができればと思う。昨年のテーマは防災だったが、
今年度は地域人材の活用をテーマとして挙げたい。学校の様子を見ていた
だくとわかると思うが、教員が目離す時間がないため、登校時の交通整理を
管理職が行っているような現状がある。スクールサポーターの方が少しでも来
ていただけたらいいと思っており、地域人材の活用についてもぜひご紹介いた
だけたらと思う。

柳澤会長より

- ・昔は地域の方がよく声をかけてくださった。またそのように関わりながらわ
かばが発展していければと思う。

<連絡・報告>

(1) 今後の予定

- ・第2回学校運営協議会 令和8年10月26日(月) 13:30～ 分校

(2) その他

- ・特になし